



低侵襲最新医療システムを提供する

株式会社ウイン・インターナショナル  
2013年3月期第2四半期  
決算説明資料



WIN INTERNATIONAL CO., LTD.

2012年11月02日

証券コード:2744

株式会社ウイン・インターナショナル

代表取締役社長 秋沢 英海

# 目次



1. 当社の使命	3
当社の使命	4
医療が直面する問題と今後に必要な取組み	5
当社の取組み～「低侵襲最新医療システム」の推進	6
2. 決算概要報告	7
決算サマリー	8
上期決算の総括	9
3. 基本戦略と下期の戦術	15
当社の強みを活かした3つの基本戦略	17
今期予想(2013年3月期予想)	18
下期TOPICS～新製品情報～	19
4. テスコ社との経営統合	22
経営統合の概要	23
業界再編に向けて～M&A戦略～	26
5. 長期トレンド・株価指標	27
(ご参考)	31



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

# 1. 当社の使命

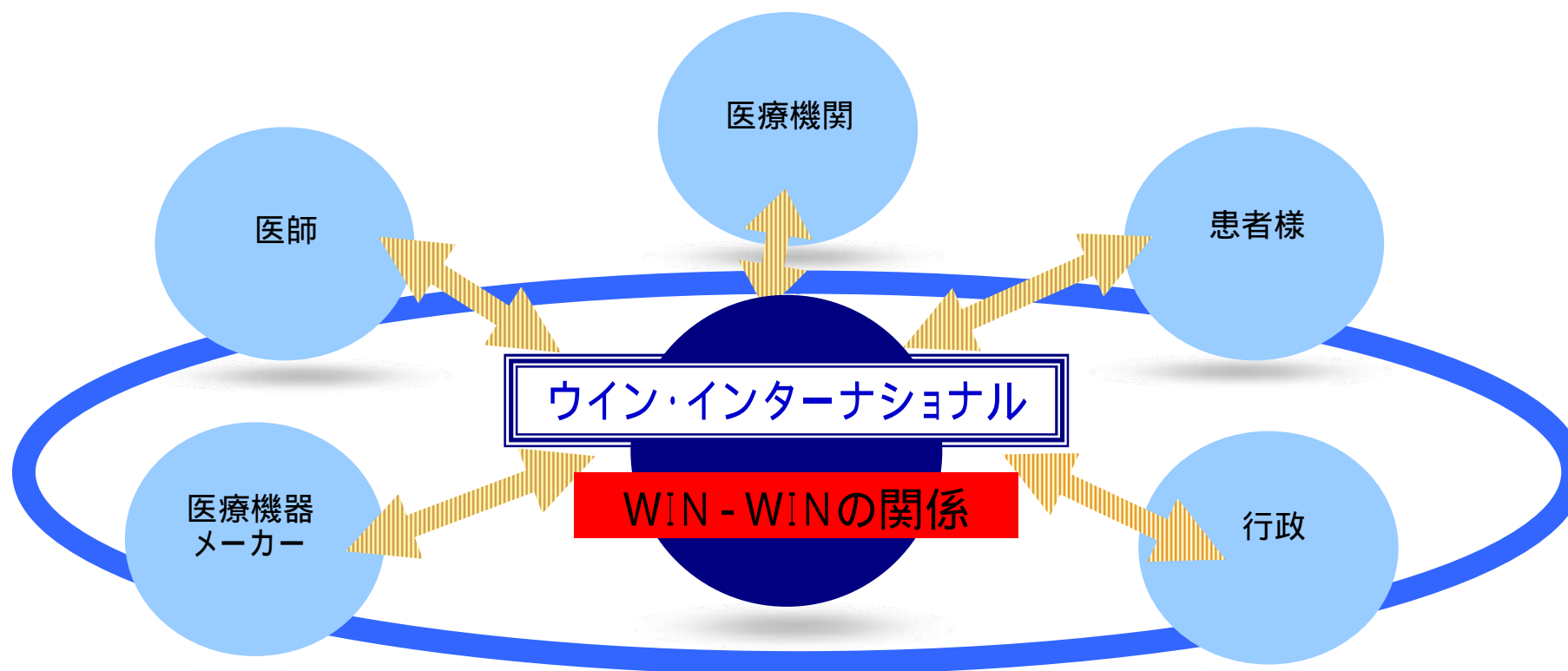
---

# 当社の使命

## 当社の使命

新しい医療周辺ビジネスの構築を通じて社会に貢献していく

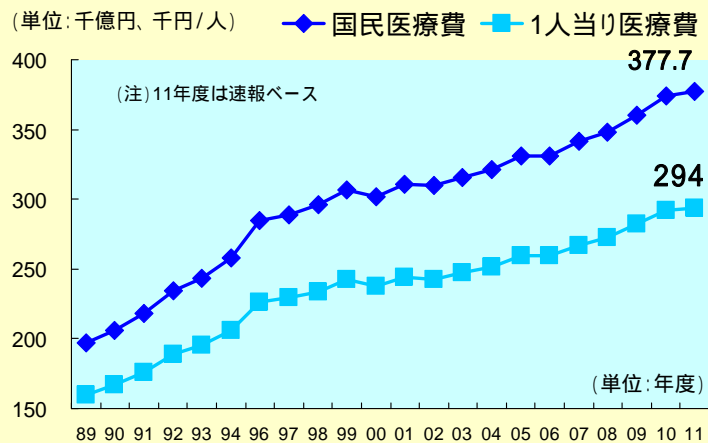
“New Innovative Wave”



# 医療が直面する問題と今後に必要な取組み

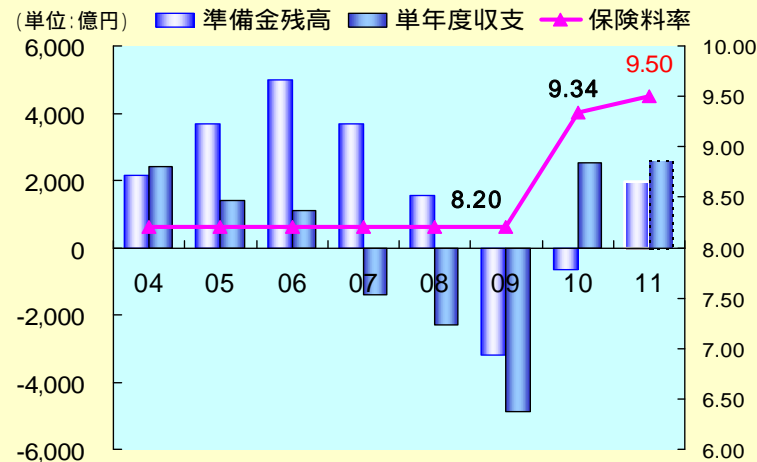
## 医療費の問題

### (1): 国民医療費の増大



(出典) 厚生労働省「平成22年度国民医療費の概況」、「平成23年度医療費の動向」

### (2): 保険財政の状況



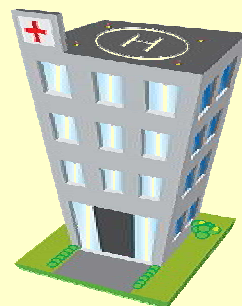
(出典) 全国健康保険協会「平成23年度事業報告書(協会けんぽ2011)」

## 今後に必要な取組み

### 効率的・効果的な医療資源の配分



医療費の最適化  
適正化余地の追及



病院経営の合理化  
(集中と選択)

### 高品質・効率的医療の提供



より効果的な治療  
必要とされる分野の充実



最新医療技術の  
促進・導入

# 当社の取組み ～「低侵襲最新医療システム」の推進



患者様の負担軽減

医療現場への  
安全・安心・信頼

低侵襲最新医療システム

病院経営の合理化  
(選択と集中)

国民医療費の抑制



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

## 2 . 決算概要報告

---

# 決算サマリー



	2011年4 9月期		2012年4-9月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	15,685	100.0	15,536	100.0	1.0
営業利益	759	4.8	653	4.2	13.9
経常利益	763	4.9	659	4.2	13.6
四半期純利益	442	2.8	401	2.6	9.3
1株当たり四半期純利益 (円)	36.24	-	32.92	-	9.2
1株当たり純資産 (円)	552.30	-	598.96	-	+8.4

償還改定年ではあるが、売上高・売上総利益は前期並み



# 上期決算の総括



## 【事業環境】

償還価格改定 2012年3月期売上を基準とした場合、2013年3月期(通年)で約 9.0%と試算

## 【取り組み】

### 人員の強化(前年同期末比較:+13名)

\* 新規開設の出張所、成長期待分野DMS(糖尿病関連)に人員を重点配置

### 新規開拓営業(首都圏の強化、エリアの拡大)

- ・首都圏を中心に各エリアで営業活動を展開:注力エリア:関東北部エリア、中四国エリア
- ・出張所を開設:2012年2月 山口出張所、2012年4月 札幌出張所

### 医療施設・メーカーとの交渉

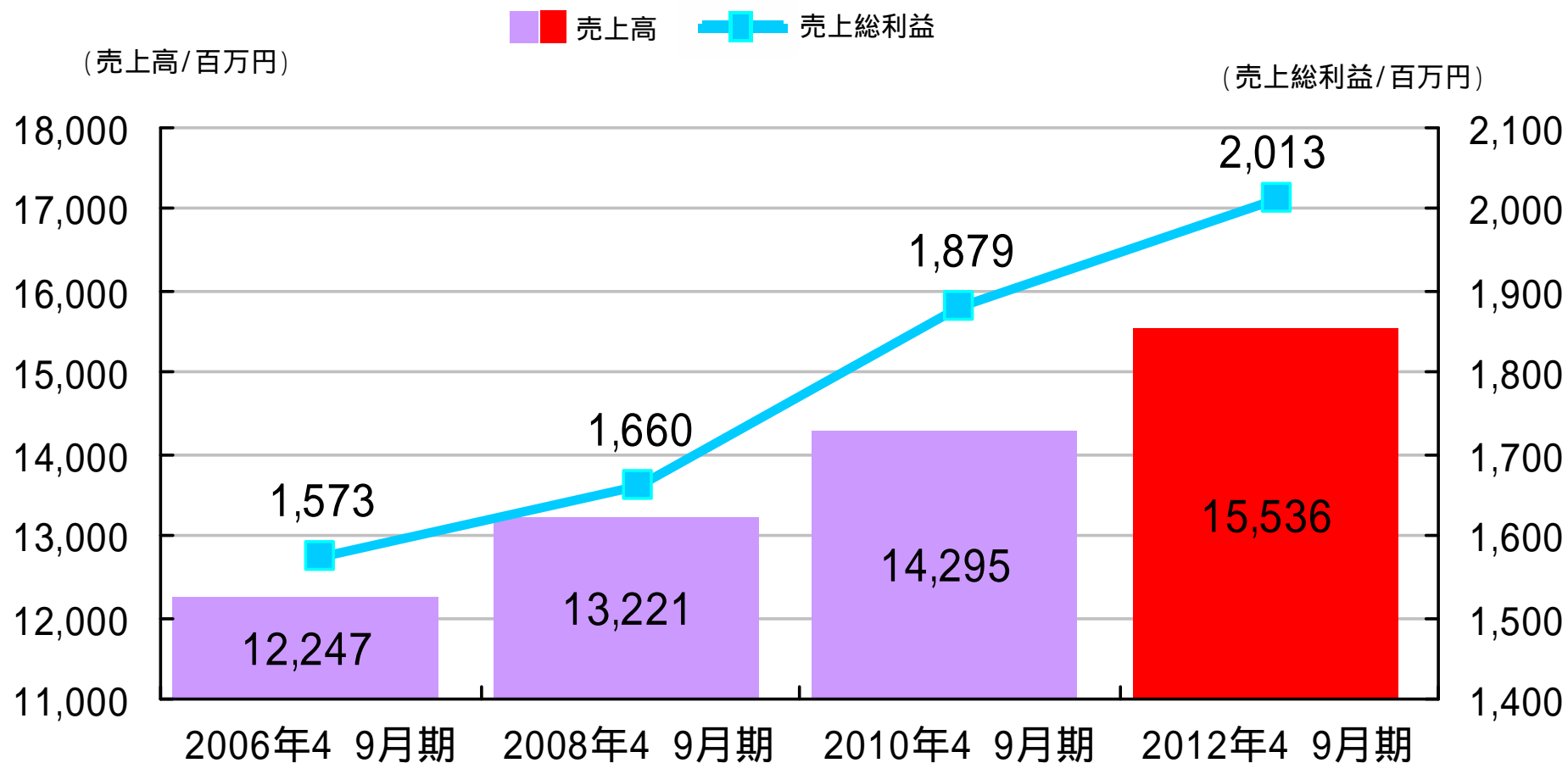
\* 償還変更に伴う医療機関との販売価格の交渉が終結  
(これをベースに、下期はメーカーに対し、成功報酬プログラム等の条件交渉を推進)

拡販施策に取り組みながら、来期以降に大きな効果が期待できる部門に投資

# 【売上】売上高推移 < 償還改定年 >



## 売上高 / 売上総利益の推移 (第2四半期累計)



# 【売上】 主要製品別状況



(単位：%)

主要特定保険医療材料	伸長率(2012年4-9月期)		売上構成比	
	数量	売上	2012年4-9月期	2011年4-9月期
虚血性心疾患関連(PCI)	3.0	▲ 8.5	57.3	60.6
PTCAバルーンカテーテル	7.2	▲ 10.9	8.3	9.0
DES(ドラッグエリユーティングステント)	5.9	▲ 9.1	22.3	23.7
IVUS(血管内超音波診断用カテーテル)	0.9	▲ 9.3	7.2	7.6
その他PCI関連	2.6	▲ 6.4	19.5	20.2
心臓律動管理関連(CRS)	20.7	6.1	18.9	17.2
ペースメーカー関連	▲ 2.1	▲ 15.4	5.5	6.3
ICD/CRT-D関連等(植込み型除細動器等)	25.8	22.0	5.4	4.3
EP・アブレーション関連 (電気生理検査用カテーテル・心筋焼灼術用カテーテル)	25.7	16.7	4.9	4.1
その他CRS関連	22.3	15.7	3.1	2.6
心臓血管外科関連(CVS)	4.4	4.0	13.8	12.8
末梢血管疾患関連(PP1)	6.7	▲ 0.9	6.5	6.4
脳外科関連	15.7	15.1	3.5	3.0
(主要特定保険医療材料以外)				
糖尿病関連(DMS)	-	+57.4		
インスリンポンプ(9月末レンタル台数)	+35.2	+40.2		
iPro2+CGMS-Gold	+343.9	+127.5		
その他DMS関連	-	+42.7		

レンタル売上

# 要約損益計算書



	2011年4-9月期		2012年4-9月期		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前年同期比(%)
売上高	15,685	100.0	15,536	100.0	1.0
売上原価	13,618	86.8	13,522	87.0	0.7
売上総利益	2,067	13.2	2,013	13.0	2.6
販売管理費	1,308	8.3	1,360	8.8	+4.0
営業利益	759	4.8	653	4.2	13.9
営業外収益	5	0.0	6	0.0	+13.4
営業外費用	1	0.0	0	0.0	54.2
経常利益	763	4.9	659	4.2	13.6
特別利益	0	0.0	-	-	-
特別損失	0	0.0	0	0.0	85.0
税前利益	763	4.9	659	4.2	13.6
税金費用	320	2.0	257	1.7	19.5
四半期純利益	442	2.8	401	2.6	9.3

売上高 1.0%  
 【マイナス要因】  
 償還価格の下落の影響等  
 【プラス要因】  
 主要取引先との取引拡大等

販売管理費 +4.0%  
 人件費  
 (前年同期比+4.3%)  
 ・営業強化の為の人員増等  
 業務委託費  
 (前年同期比+68.3%)  
 ・経営統合関連費用等

# 要約貸借対照表



(単位:百万円、%)	2012年3月末		2012年9月末			(単位:百万円、%)	2012年3月末		2012年9月末		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額		金額	構成比	金額	構成比	増減額
<b>流動資産</b>	14,865	89.6	13,414	85.6	1,451	<b>流動負債</b>	9,146	55.1	8,154	52.0	991
現金・預金	3,980	24.0	3,549	22.7	431	仕入債務	8,315	50.1	7,608	48.6	707
売上債権	9,833	59.3	8,823	56.3	1,009	短期有利子負債	41	0.2	-	-	41
商品	696	4.2	730	4.7	+33	未払法人税等	419	2.5	264	1.7	155
未収入金	239	1.4	189	1.2	49	その他流動負債	370	2.2	282	1.8	87
その他流動資産	115	0.7	121	0.8	+5	<b>固定負債</b>	189	1.1	206	1.3	+16
<b>固定資産</b>	1,729	10.4	2,255	14.4	+526	長期有利子負債	-	-	-	-	-
有形固定資産	1,196	7.2	1,183	7.6	13	その他固定負債	189	1.1	206	1.3	+16
無形固定資産	122	0.7	214	1.4	+92	<b>負債合計</b>	9,335	56.3	8,360	53.4	974
投資その他資産	409	2.5	857	5.5	+448	<b>純資産合計</b>	7,259	43.7	7,309	46.6	+49
<b>資産合計</b>	16,595	100.0	15,670	100.0	925	<b>負債・純資産合計</b>	16,595	100.0	15,670	100.0	925

有利子負債がゼロに、完全無借金経営となる

# 要約キャッシュ・フロー計算書



	2011年4-9月期	2012年4-9月期	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	565	579	+14
税引前四半期純利益	763	659	103
減価償却費	82	66	15
売上債権の増減額( は増加)	211	1,009	+1,221
たな卸資産の増減額( は増加)	36	27	63
仕入債務の増減額( は減少)	194	707	901
法人税等の支払額	286	419	132
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	107	628	521
有形固定資産の取得による支出	66	64	+1
関係会社株式の取得による支出	-	456	456
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	408	382	+25
配当金の支払額	307	341	34
<b>現金・現金同等物の増減額( は減少)</b>	50	431	481
<b>現金・現金同等物の期首残高</b>	4,026	3,980	45
<b>現金・現金同等物の期末残高</b>	4,076	3,549	527



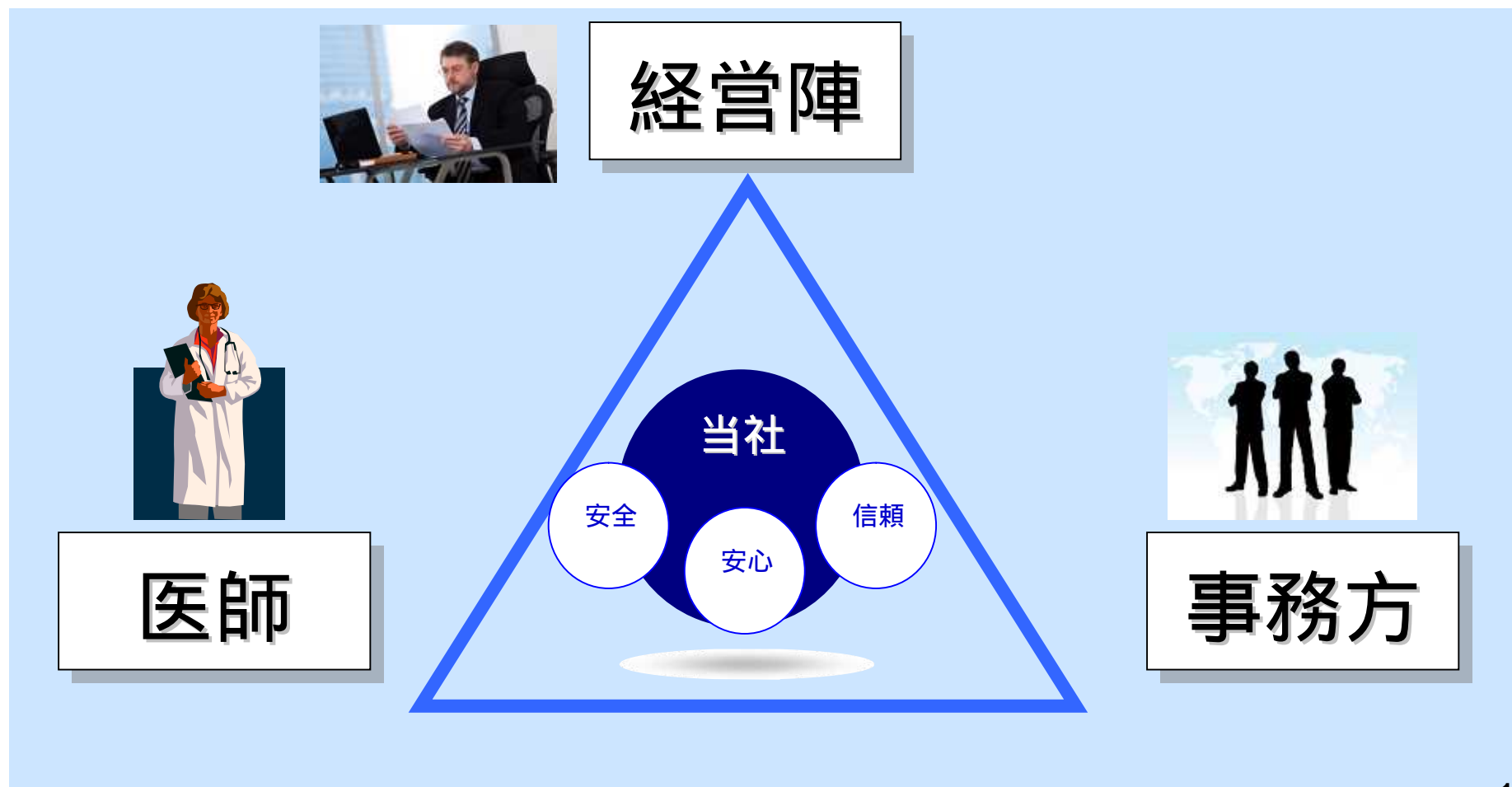
WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

## 3. 基本戦略と下期の戦術

---

医療機関の3極(医師、経営陣、事務方)に対し総合提案

それぞれのニーズ(医療の質、将来展望、収益性等)に対し、最適な提案





# 当社の強みを活かした3つの基本戦略

## : 病院経営の目線からの提案

それぞれのニーズに沿った各種施策提案  
人材補強施策 / 設備投資施策 / 集患施策

量の拡大

業界再編を勝ち抜く  
体制の整備と運用

適正利潤

## : 専門性

- ・高度な商品知識、サービスの提供
- ・医療施設の高度医療化をサポート
- ・医療機器メーカーへの提案

## : 集中戦略

- ・顧客: 有力医療施設(プロ中のプロ)との取引拡大
- ・製品: 低侵襲医療分野の高付加価値製品
- ・エリア: 首都圏での販売強化 シェア拡大(全国展開)

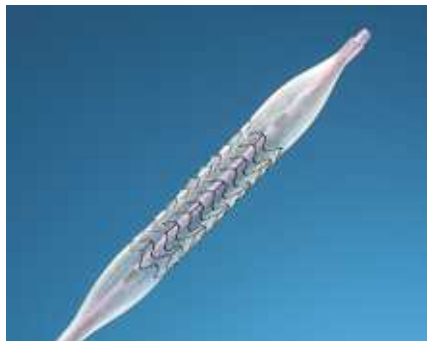

# 今期予想 (2013年3月期予想)



	2012年3月期 (前期実績)		2013年3月期 (今期予想)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	32,957	100.0	34,049	100.0	+3.3
営業利益	1,648	5.0	1,652	4.9	+0.2
経常利益	1,657	5.0	1,657	4.9	+0.0
当期純利益	955	2.9	1,009	3.0	+5.7
1株当たり純利益(円)	78.23	-	82.74	-	+5.8
1株当たり配当金(円)	28.00	-	29.00	-	+3.6

通期予想に変更はない

# 下期TOPICS ~ 新製品情報 ~

分野	PCI	CRS	PPI(PTA)
	(虚血性心疾患関連)	(心臓律動管理関連)	(末梢血管疾患関連)
	薬剤溶出性ステント(DES)  <p>筒状の網目の金属を血管内に留置し、再狭窄を防ぐ。</p>	ペースメーカ  <p>心臓の鼓動が途切れたことを検知すると、電氣的刺激を心臓に送り、正常なリズムで鼓動させる。</p>	末梢血管用 DES  <p>太ももの動脈が詰まる「末梢動脈疾患」を治療するDES。 (*日米同時申請で、日本が先に承認)</p>
新製品情報	<b>【DES】</b> 3月 BSJ_プロマスエレメント 5月 アボット_サイエンスプライム 9月 メトロ_レゾリュート 10月 BSJ_プロマスエレメントプラス	<b>【PM】</b> 10月 メトロ_アドバイザーMRI (MRI対応ペースメーカ)	<b>【DES】</b> 7月 クック_シルバPTX(限定) フルリリースへ

# 糖尿病関連(DMS)の状況、拡大戦略の推進～



## 【日本の糖尿病患者の状況】

- ・糖尿病患者は全国に2,210万人と推定。【参考】「国民健康・栄養調査(平成19年)」

### 【インスリンポンプ療法】

- ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による治療法
- ・患者様の負担が軽減され、QOL(生活の質)の改善が可能となる。
- ・欧米では普及しているが、日本国内では一般的でない。



## 【上期の状況】

2012年4月診療報酬改定

DMS全体売上高 **前期比 + 57.4%**

・インスリンポンプのレンタル台数 **前期比 + 35.2%**

・新規の導入施設の増加(取引口座の獲得) 9月末口座数 **前期比 + 50.4%**

2012年4月発売 血糖値連続測定モニター『iPro2』が好調

『iPro2』等売上高 **前期比 + 127.5%**

## 【当社の取組み】

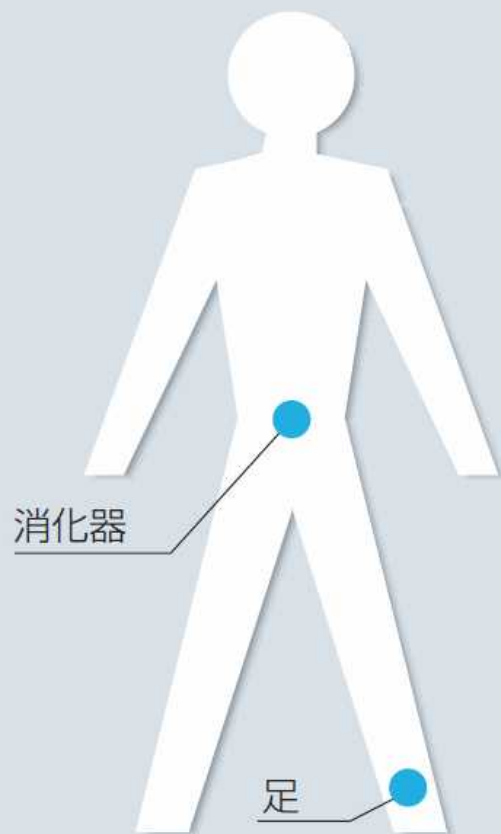
- ・この新しい糖尿病治療法(インスリンポンプ療法)の更なる普及、啓蒙のサポート
- ・合併症により循環器疾患となった患者様に対応する当社ネットワークの活用

# 末梢血管疾患関連 ( PPI ) への注力 ~ 新しい低侵襲治療 ~



## “低侵襲治療”を心臓以外の領域へと拡大

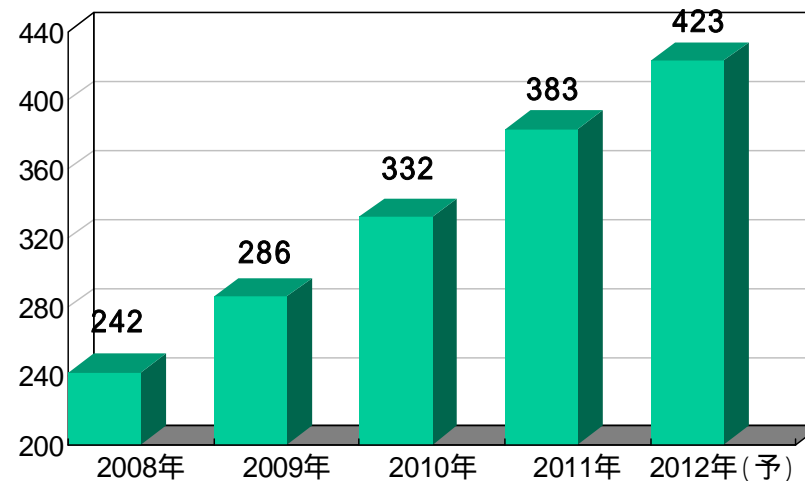
循環器領域から他科への広がり



診療報酬改定 ( 手技料増額 ) \* 新規保険適用もあり  
医療施設、医師への営業活動に注力  
医療機関での新規投資、症例開始、症例数増加

末梢ステント再狭窄抑制型が保険適用 ( 22.4万 )  
7月クック社シルバPTXが限定発売、症例数が増加  
限定販売から、フルリリースへ

( 単位 : 千個 ) PPI製品販売数量推移



( 出典 ) R&D 「医療機器・用品年鑑2012年版」



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

## 4. テスコ社との経営統合

---

# 経営統合の概要



名称：ウイン・パートナーズ株式会社（英文名：WIN-Partners Co.,Ltd.）

経営統合の形態：共同株式移転

統合期日：平成25年4月1日（予定）

上場：大阪証券取引所 JASDAQスタンダード

ウイン・パートナーズ株式をJASDAQスタンダードに新規上場申請し、当社株式は上場廃止となる予定です。

## 統合スキーム



# テスコ社の概要



## 【テスコ株式会社の概要】

本店所在地	宮城県仙台市青葉区木町1番1号	主な事業内容	医療機器・消耗品販売
代表者の氏名	代表取締役 秋田 裕二	従業員数	60名
設立年月日	昭和48年12月22日	売上高	8,380百万円(平成24年5月期)
資本金	20百万円	主な営業エリア	宮城県、福島県

## 【参考】当社 + テスコ社（通期単純合算）

(百万円)	当社		テスコ社		合計	
	2012年3月期	構成比	2012年5月期	構成比	金額	構成比
売上高	32,957	100.0%	8,380	100.0%	41,337	100.0%
売上総利益	4,354	13.2%	1,222	14.6%	5,576	13.5%
営業利益	1,648	5.0%	396	4.7%	2,044	4.9%

## 【テスコ社の強み】

宮城県での循環器分野のシェア 1、東北地方でもトップクラス。  
 高い利益率を誇る。  
 財務体質も優良である。



1. 企業規模の拡大

2. シェアの拡大による  
価格交渉力・対応力の強化

3. 東北地方における営業基盤の強化、  
全国体制の推進

## ホールディング化の目的

理念や戦略に賛同する企業が

**参画しやすい体制**を構築すべく

持株会社を設立し、シナジー効果を追求する。

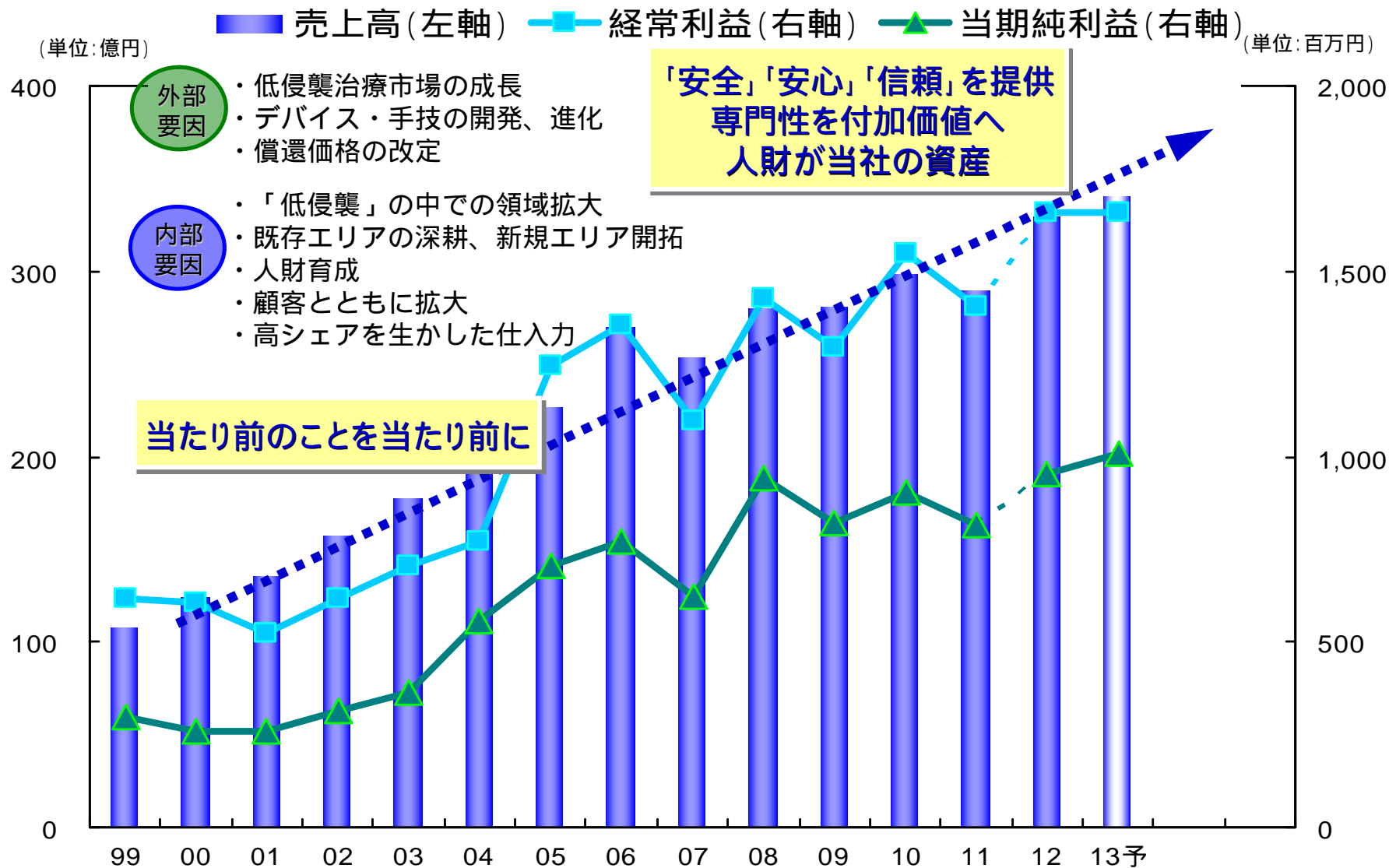


WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

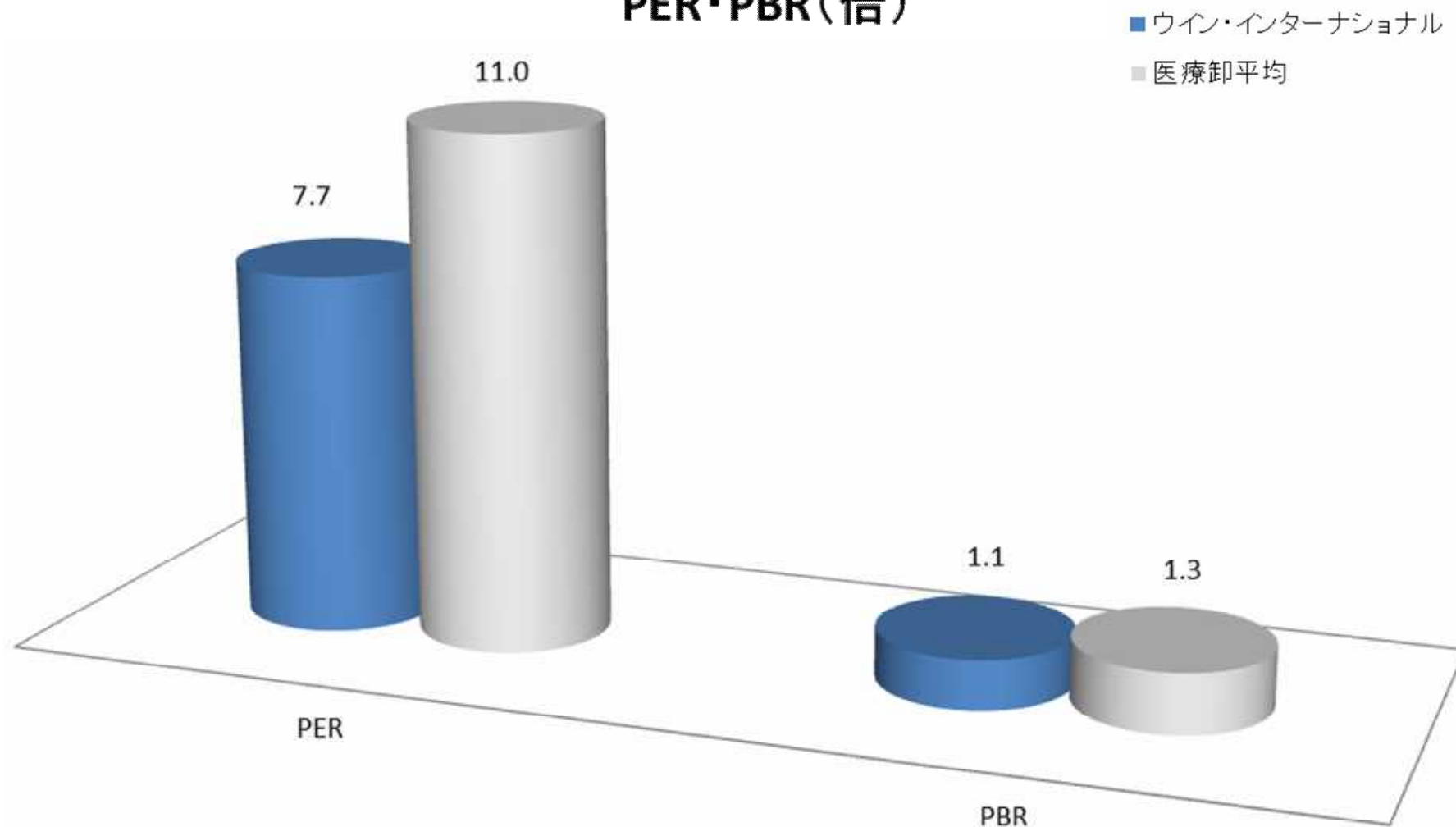
## 5. 長期トレンド・株価指標

---

# 当社の長期トレンド



## PER・PBR(倍)

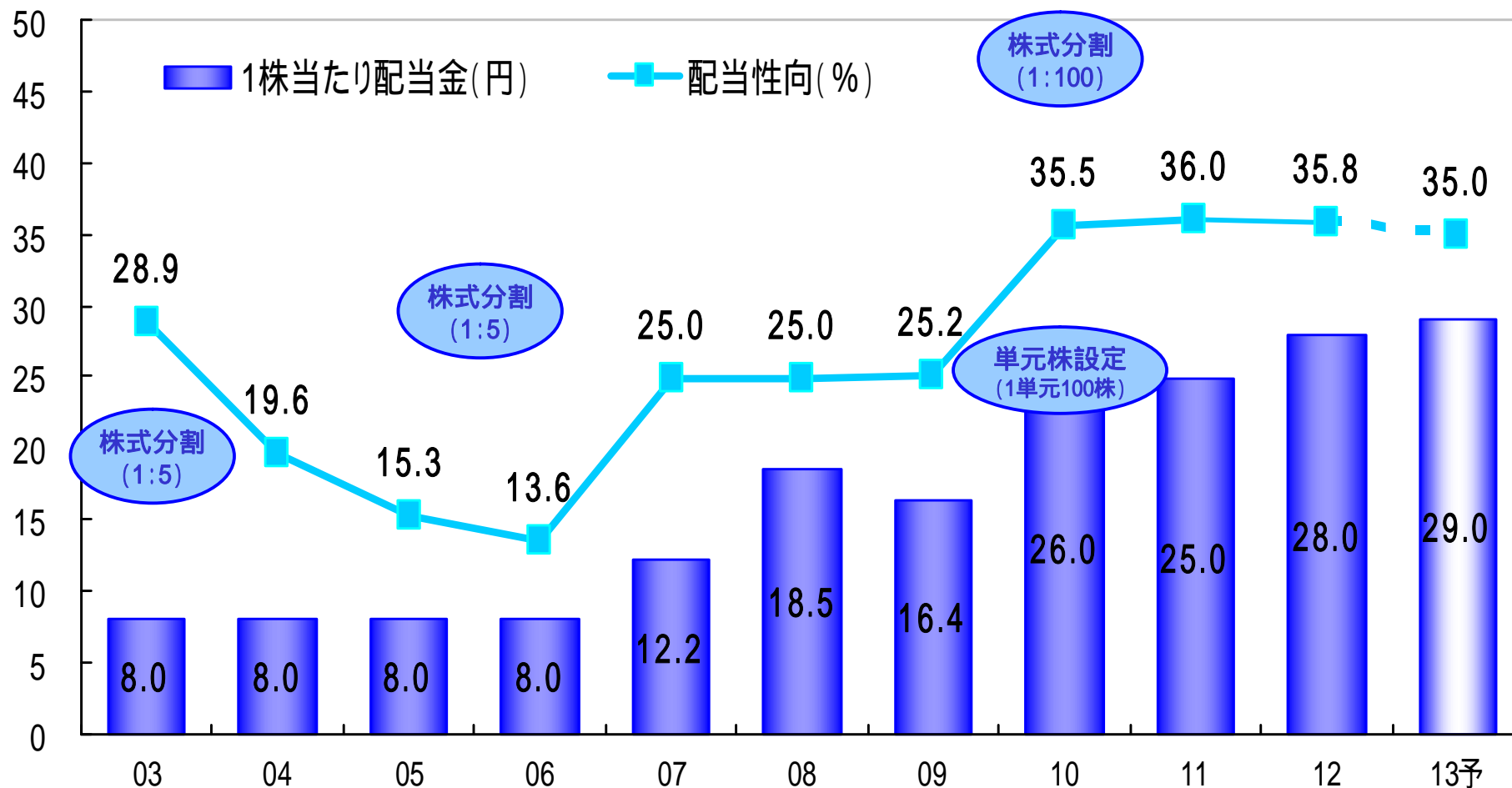


出所: KCR総研(2012年10月24日時点 医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近予想( 当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

# 株主還元(配当性向35%以上)

## 株主還元策 配当性向35%以上を維持

(単位:円、%)





WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

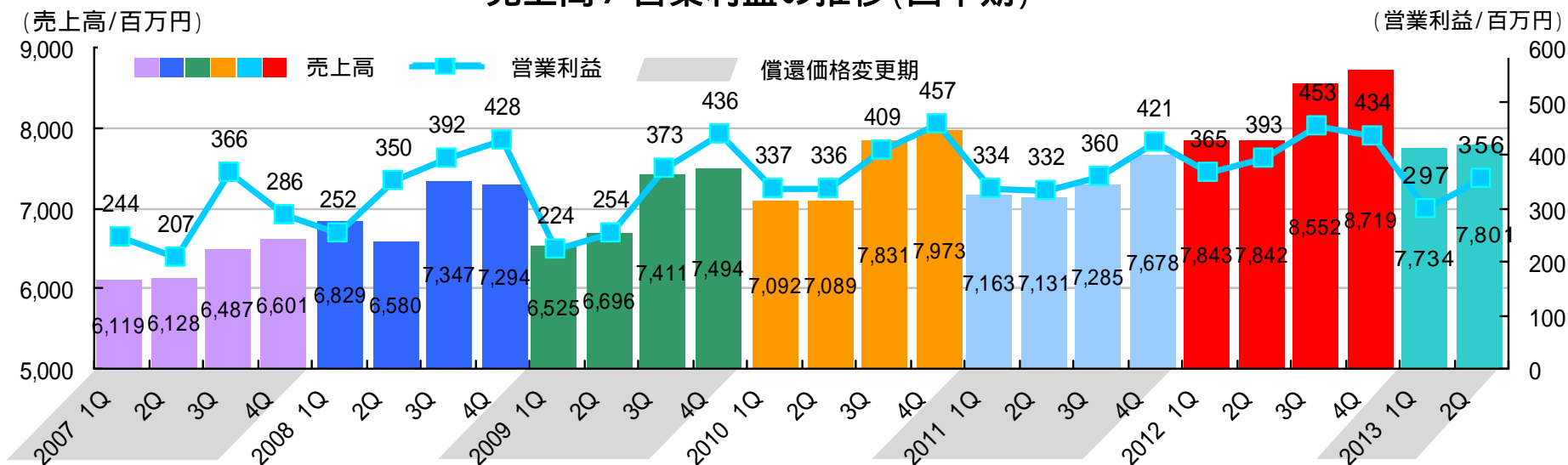
(ご参考)

---

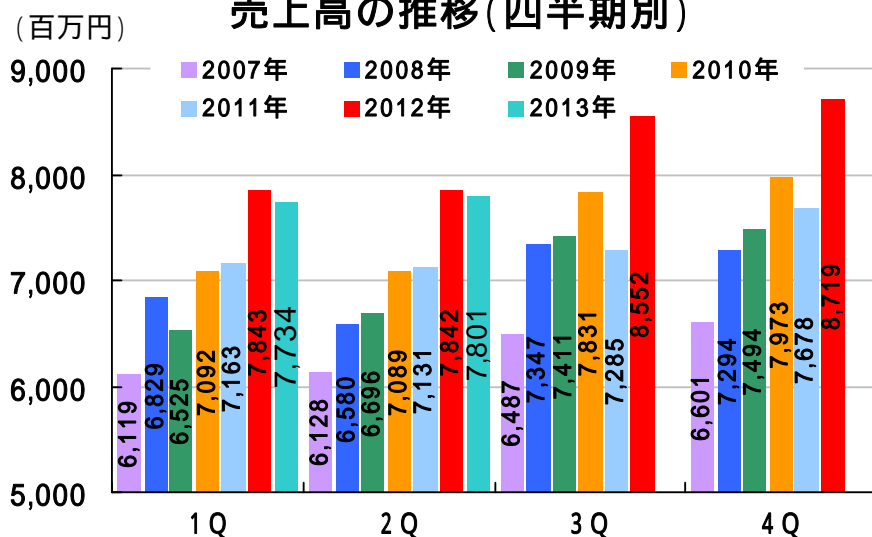
# (参考) 四半期業績推移



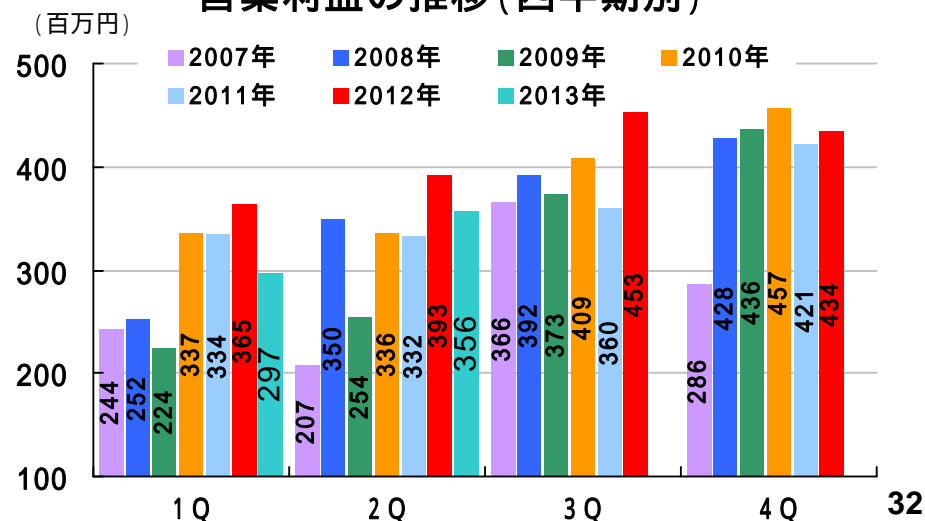
## 売上高 / 営業利益の推移 (四半期)



## 売上高の推移 (四半期別)

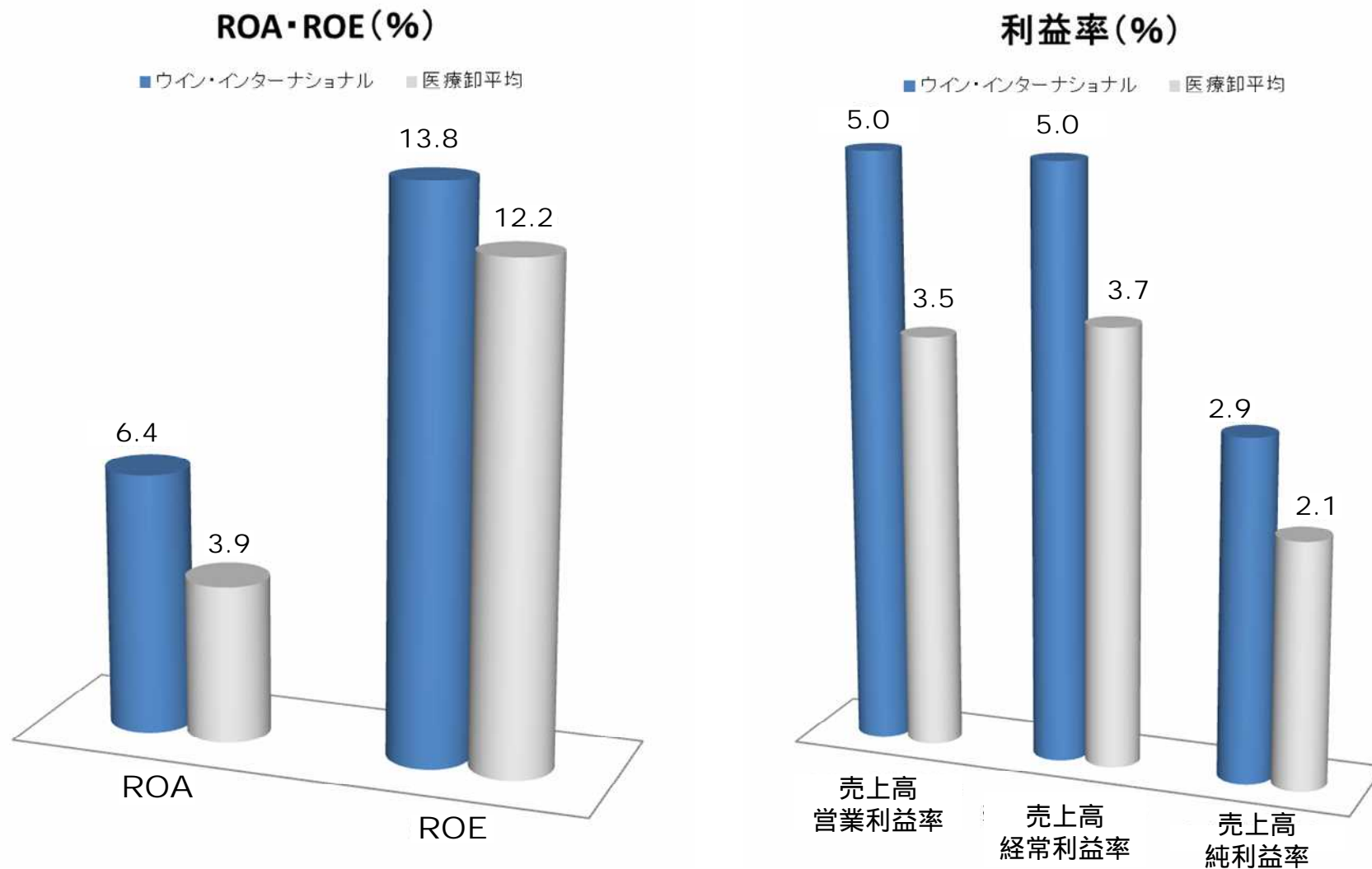


## 営業利益の推移 (四半期別)





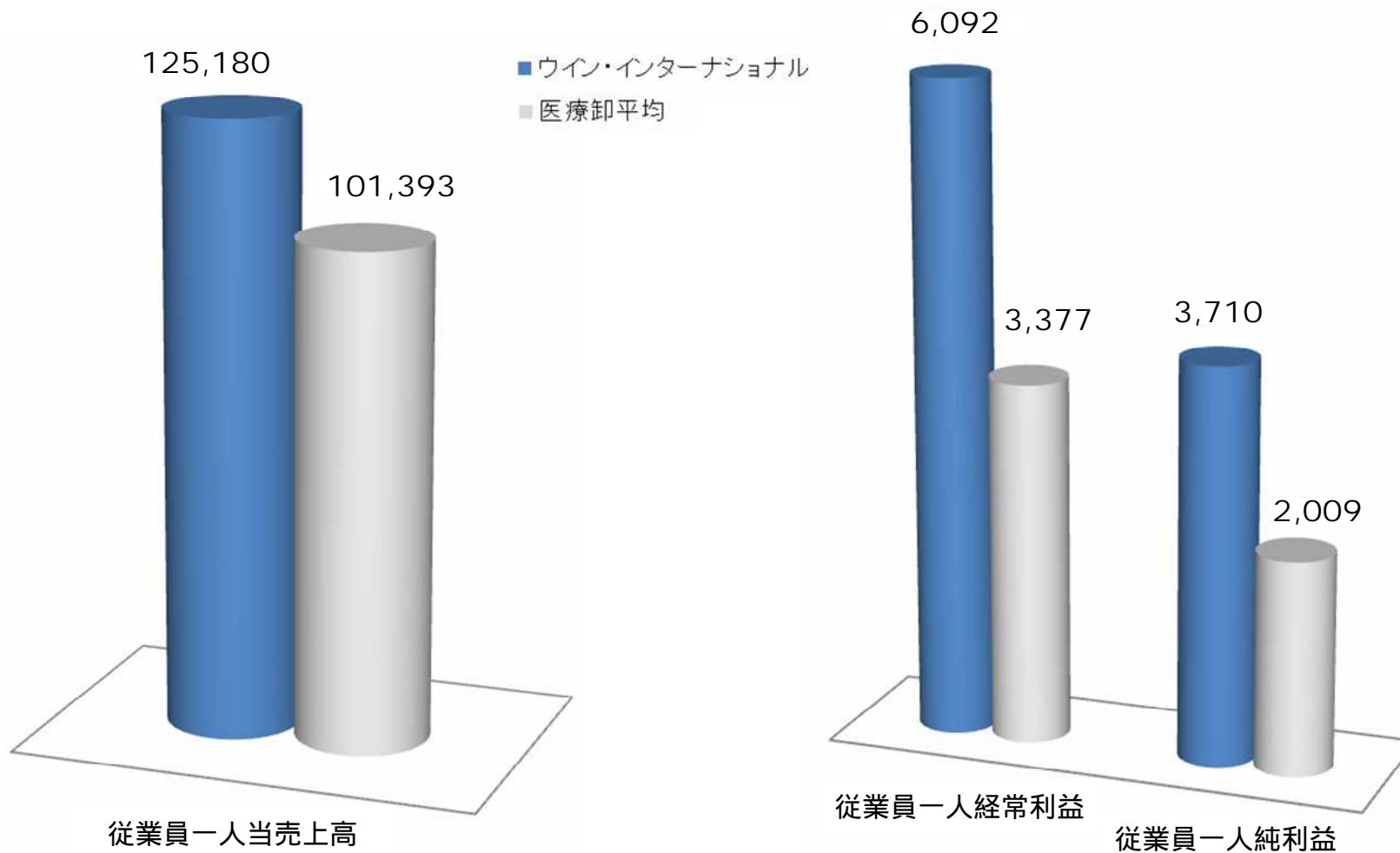
# (参考) 収益性の分析



出所: KCR総研(2012年10月24日時点) 医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近会社予想( 当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

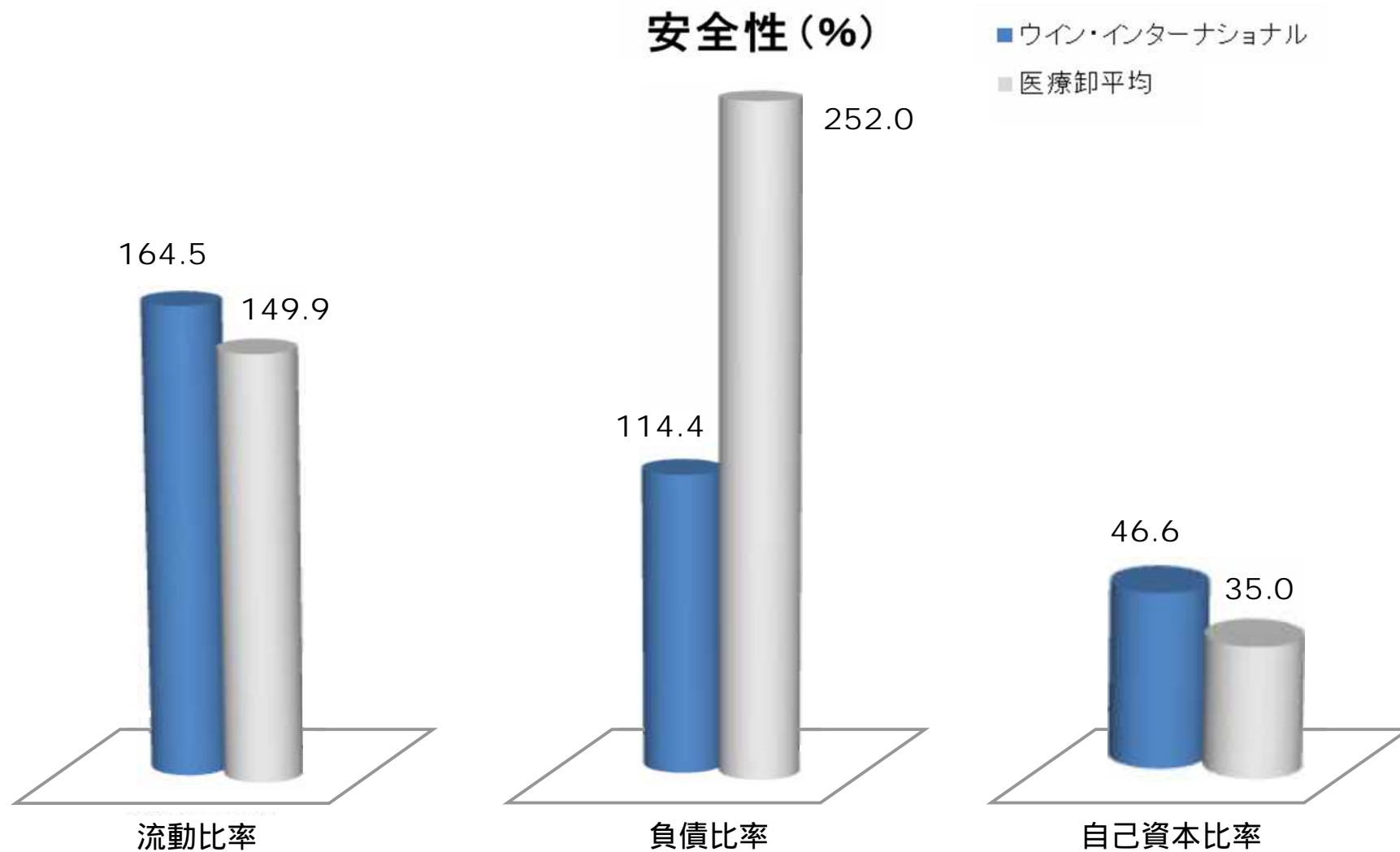
# (参考)生産性の分析

## 生産性(千円)



出所: KCR総研(2012年10月24日時点 医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近会社予想( 当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

# (参考) 安全性の分析



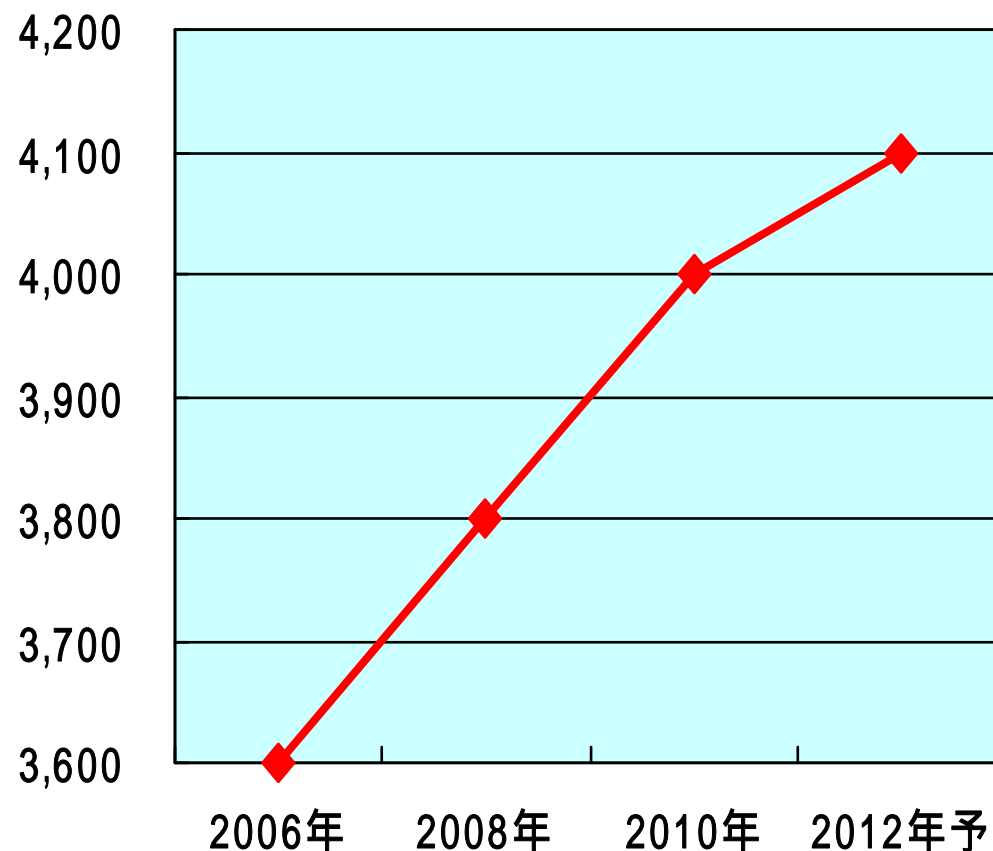
出所: KCR総研(2012年10月24日時点) 医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近会社予想( 当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

# (参考) 事業環境 ~ ターゲット市場 ~

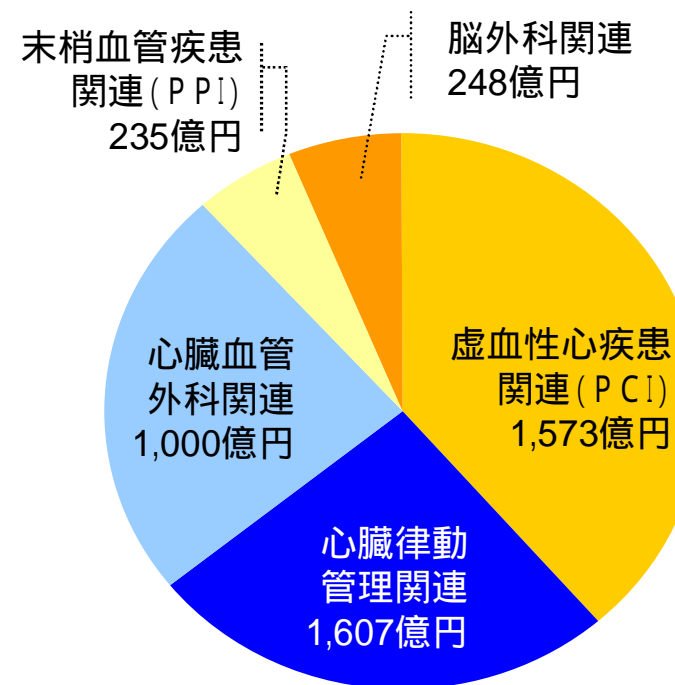
## ターゲット市場は約4,100億円

(単位: 億円)

ターゲット市場推移



ターゲット市場内訳



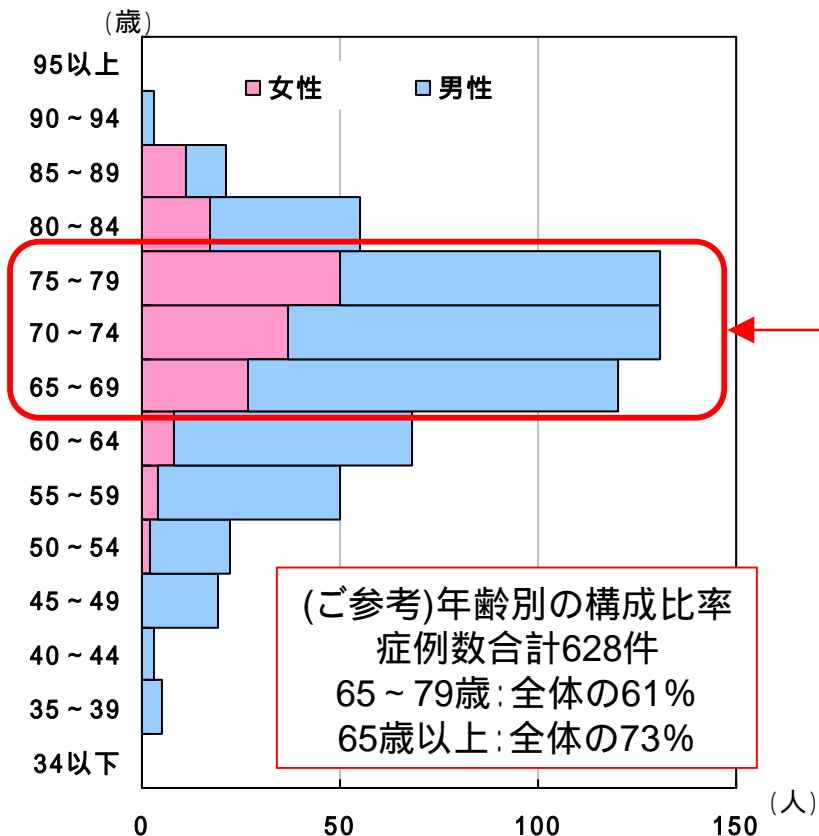
(出典)  
株式会社オールアンドディ「医療機器・用品年鑑2012年版」  
最新市場規模(2011年度)の数値を使用。

# (参考) 事業環境 ~ 患者数の見込み ~



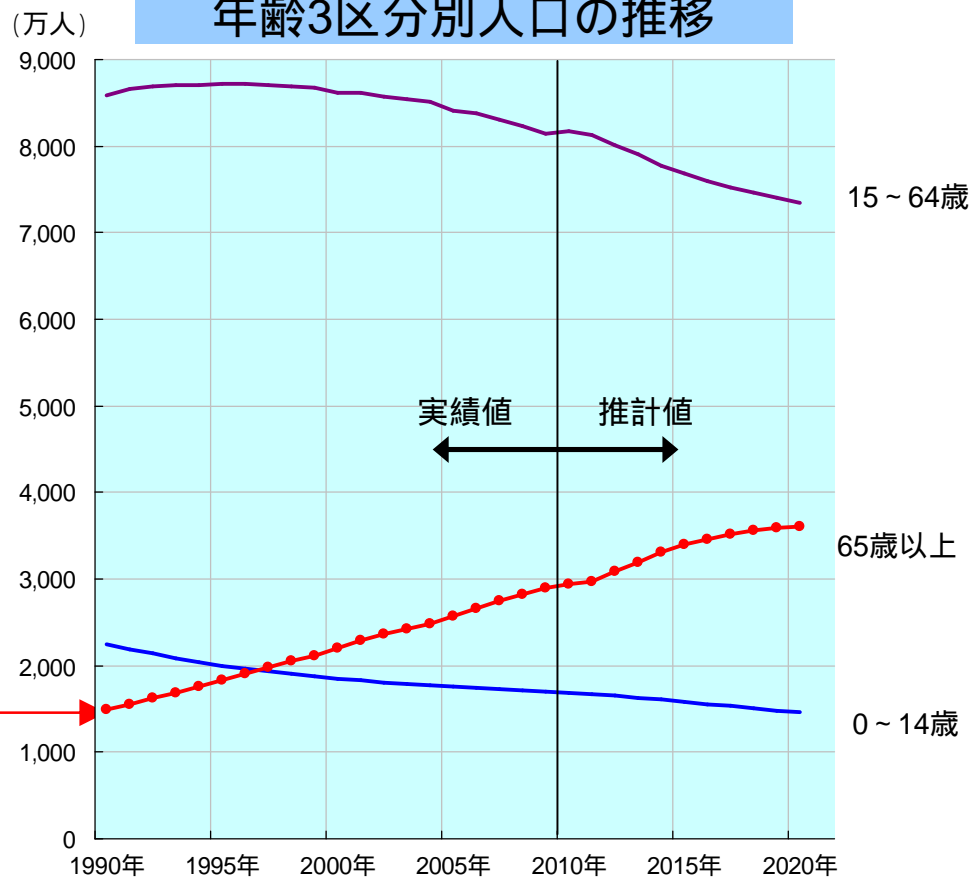
【PCI】(虚血性心疾患関連) : 中心患者である65歳~79歳の人口は増加が続く

心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数

年齢3区分別人口の推移



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」(平成24年1月推計)

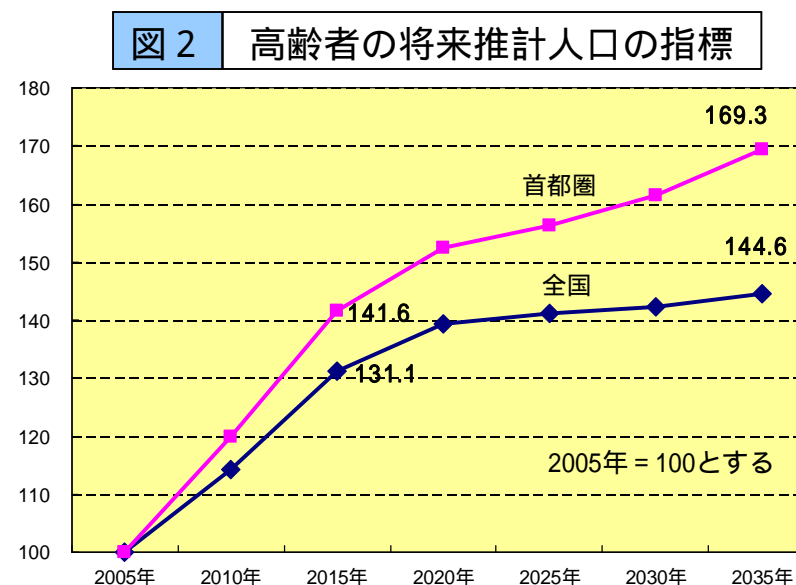
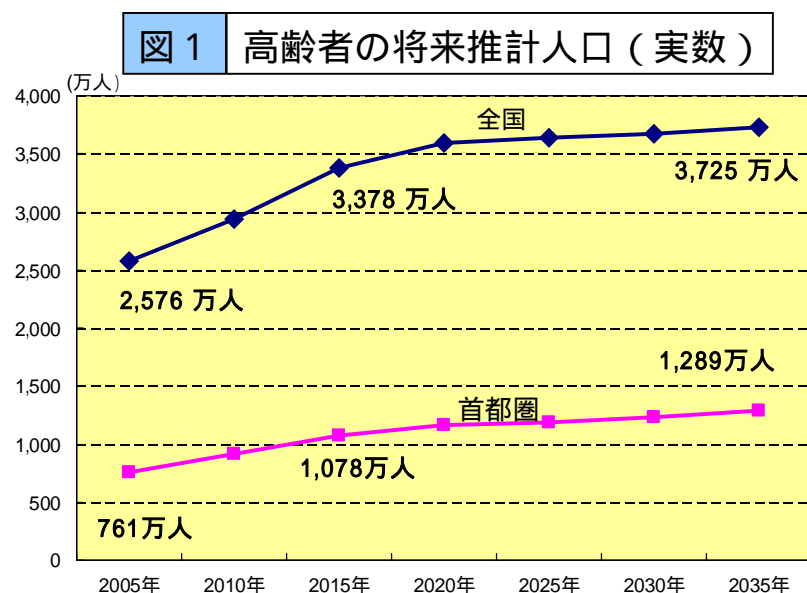
# (参考) 事業環境 ~ 首都圏の高齢化 ~

## 高齢者人口の動向

2015年までの高齢者人口の増加状況

【首都圏の高齢者人口】《2005年》761万人 《2015年》1,078万人…約320万人増加 (図1)。

【高齢者人口増加率】指標:2005年を100 2015年《全国》131.1 < 《首都圏》141.6 (図2)。



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所 「日本の市町村別将来推計人口」(平成20年12月推計)

# (参考) 事業展開 ~ エリアの拡大: 主要都市への体制を構築 ~

(医療機器販売事業)

< エリアマネジメント >  
第一 ~ 三営業部



(医療施設支援事業)

< 企画営業部 >  
プランニング  
マーケティングサポート



< セクションマネジメント >  
CRS、CVS、DMS ( )

- ( ) 「CRS」(Cardiac Rhythm Section): 心臓律動管理関連の商品を扱う専門セクション。
- 「CVS」(Cardiac Vascular Section): 心臓血管外科関連の商品を扱う専門セクション。
- 「DMS」(Diabetes Mellitus Section): 糖尿病関連の商品を扱う専門セクション。

CRS  
CVS

第二営業部

大阪営業所  
高松営業所  
福岡営業所  
・山口出張所

DMS

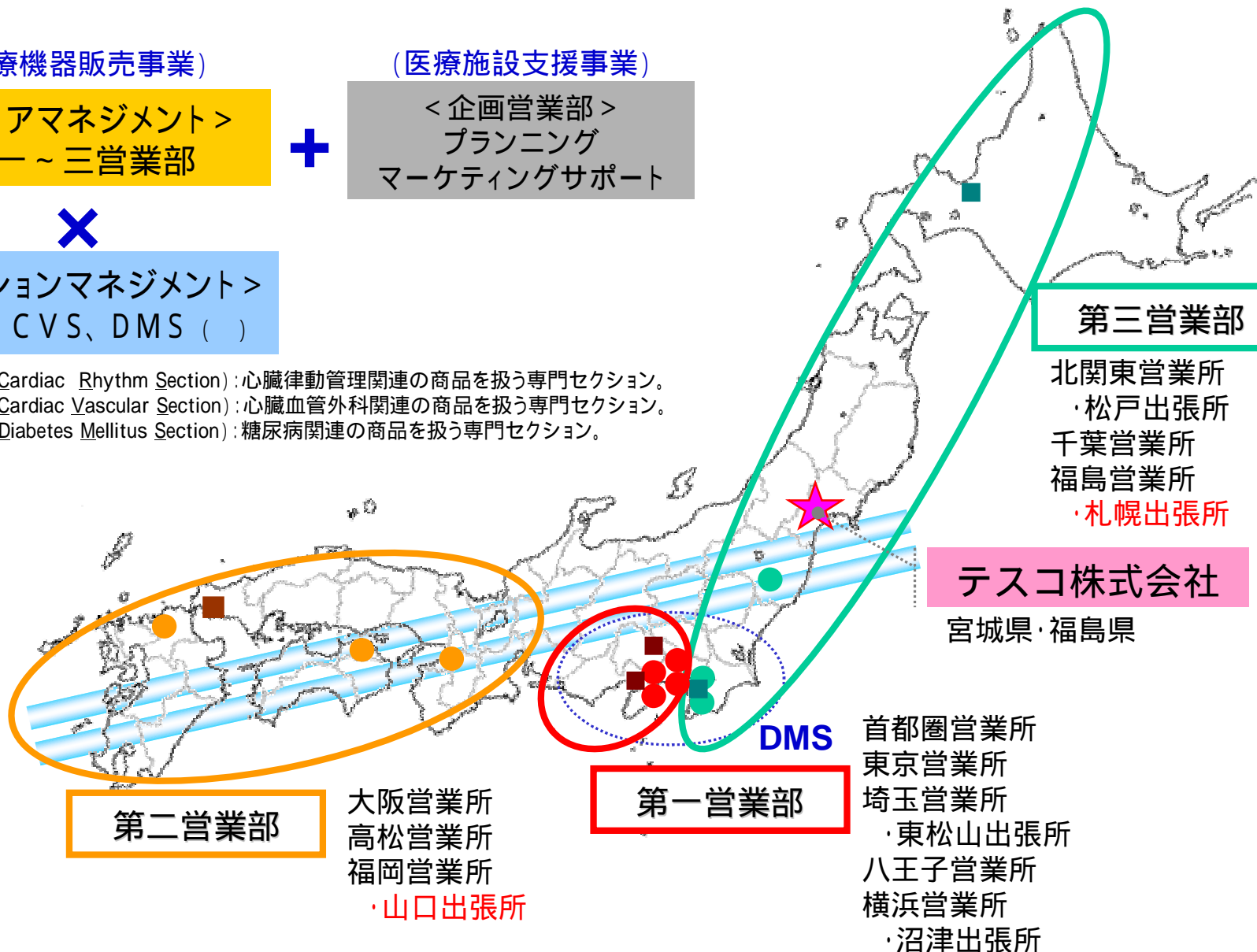
第一営業部

首都圏営業所  
東京営業所  
埼玉営業所  
・東松山出張所  
八王子営業所  
横浜営業所  
・沼津出張所

テスコ株式会社  
宮城県・福島県

第三営業部

北関東営業所  
・松戸出張所  
千葉営業所  
福島営業所  
・札幌出張所



# 低侵襲最新医療システムを提供する ウイン・インターナショナル

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ウイン・インターナショナル(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。  
当資料に記載された内容は、2012年11月2日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。  
投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

## 本資料に関するお問合せ先



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

株式会社ウイン・インターナショナル  
総務部 IR担当

TEL : 03-5688-0878 FAX : 03-5688-0891

HP : <http://www.win-int.co.jp>